

2014年
5・6月号
Vol. 9

幸義会だより

岡山東部脳神経外科

新年度を迎えて

東備クリニック院長 野口 泰宏



私の大好きな桜が満開を迎え、今年も新年度が始まりました。

幸義会にも新人職員が数名入職され、職員一同忘れかけていたフレッシュな気持ちを思い出しながら、新入職員を迎えていることと思います。

かくいう私も、いまでは社会人デビューして20年以上経過してしまい、お世辞にもフレッシュとは言えなくなりましたが、当然新人時代はありました。当時は現在とは医師研修システムが異なり、国家試験をパスするとまず大病院の医局に入局し、初めは大病院で研修を始めるのが一般的でした。大病院では医師とは名ばかりで右も左もわからずただウロウロし、また先輩の先生は忙しくてなかなか御教授いただけなかったため、看護師さんに色々な事を教えていただいていたことをいまでも思い出します。当然大病院では責任がかかるような仕事は全くさせてもらえず技術も知識もいまに、数ヶ月すると市中の研修病院へ派遣となります。派遣先ではほとんど何も出来ないにもかかわらず一人前の医者として見られて診療にあたるようになり、現実の社会・医療を肌で感じ、その厳しさと楽しさに直面することとなったのを昨日のこのように思い出します。

新入職員の方の状況はこの時期の私に近いものではないかと思うので、今回は当時の記憶をたどりつつ新入職員の方への助言などをつづりたいと思います。当時私が派遣先の病院で仕事を始めて思ったことは、教科書に書いてあることは1行程度でも、現実にはな

んと膨大な労力と時間がかかるのだらうということでした。例えば脳卒中中の治療の記述を教科書などで見ますと、発症後4・5時間以内であればt-PAによる治療が可能です。しかし現実には、発症時刻を特定するための家族などへの聞き取り・点滴確保して血液採取・内服薬や既往症の聞き取り・ストレッチャーによるMRIへの搬入とベット移動・MRI撮影と撮影中の観察・画像所見の解析による治療方法の家族への説明と同意・薬剤の調合と投与、という複数の医療専門職による共同作業（チームワーク）が必要です。万一血液検査の提出を忘れたりすれば4・5時間を過ぎてしまい治療の機会を失うこととなりますし、投薬内容や既往症の聞き取り不十分であったなら重篤な出血性合併症を起こすことも考えられます。

またやつと投与開始となっても当然脳出血の危険性はありますので、投与後24時間は厳重な医療スタッフによる監視と定期的なCT検査は欠かせません。

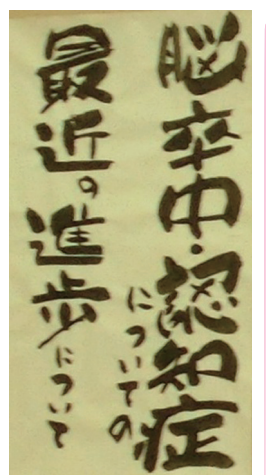
これら文章にすれば大変な現実の作業を、まさに教科書に書いているように一行の文章程度の感覚で、素早くかつ滞りなく行うことが出来るのが真のプロ集団と言えるのではないかと感じておりますので、お互い是非それを目指したいものです。

ただ一人の人間が気付くこと・出来ることには限界がありますので、医師ならば医師の仕事しかししない・見ない、事務ならば事務の仕事しかししない・見ない、とならないようにし、お互い少しでもミスやストレスを減らすように心がけるべきだと思っています。職種の壁を取り払って手を貸してあげようという意識を常に持つようにしましょう。実際当院の先輩職員はそうして動かれており当院の強みだと感じております。そうは言ってもストレスが貯まりやすい業界ですのでストレス解消は大切です。

最後に私のストレス解消に役立っている愛犬の写真を載せさせていただきます。



「万富はつらつ大学」講演させていただきました。



平成26年2月17日(月)、岡山市立万富公民館において当院の理事長・滝澤貴昭先生が、第六回「万富はつらつ大学」の講演をさせていただきました。今回の講演は「脳卒中・認知症についての最近の進歩について」というテーマでした。

認知症になりにくい食生活や生活習慣、脳卒中にならないための予防ポイント、脳卒中の種類などを、手術中の写真やMRIの画像をふまえながらお話しさせていただきました。

平日の昼間にもかかわらず、たくさんの方に参加していただきました。少しでも脳卒中や認知症の事についてご理解いただけたら幸いです。

お知らせ

当院では以前より計画されておりました東備と岡山の2つのクリニック間の光通信を繋ぐ作業が先日完了致しました。これにより、2施設間のデータのやり取りがほぼリアルタイムに行う事ができます。2施設間で患者様の画像情報を共有できるようになり、今後どちらの施設に行かれても以前の画像と比較が可能です。

また、画像診断専門医にデータを送信し、読影報告書を返信して頂く『遠隔画像診断サービス』もよりスムーズに行う事ができるようにになりました。

患者様からの投稿

患者様からの投稿を二通頂きましたので、紹介させていただきます。

先日、〇〇クリニックへ初めて入院することになりました。心配しながら来ま



した。すぐに先生が診て下さり、分かりやすい画像の説明と患者に対する優しい心遣いに家族としてうれしく思いました。先生、看護師またヘルパーの皆様に変えてもらい、日々回復しています。もうすぐ退院できる日も近いと思います。が、それまでよろしく願います。

家族より

ここは すごいですね。とても すごいですね。また きたいです。

男の子より

温かいお言葉ありがとうございます。これからも、患者様にとって良い医療が提供できるよう頑張っております。また、御意見・御感想がありましたら、受付前にご意見箱がございますので、どのようなことでも構いませんので投稿して下さい。

新職員挨拶



亀田陽平

始めてましてこんにちは、作業療法士の亀田陽平と申します。私は、四国の愛媛県出身です。作業療法士として働くのも社会人として働くのも岡山県で過ごすのも何かもが初めてなのでとても不安でいっぱいですが、一生懸命頑張りたいと思いますので今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。



浅野琴恵

4月1日に東備クリニックに入職させていただきました、理学療法士の浅野琴恵と申します。4年間、他の病院での勤務を経て今年5年目となります。経験者ではありますが、まだまだ修行中の身ですので、皆様からの御指導・御教授を賜れましたらと思います。一日も早く皆様の仲間入りができたらと思いますので、宜しくお願いいたします。



坂口和馬

今年から、岡山クリニックで勤務させて頂くことになりました。言語聴覚士の坂口和馬と申します。まずは業務に慣れることに専念して、いち早く一人前の言語聴覚士になれるよう日々精進していきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

栄養部より

食品包装のきまりについて、パート3。今回は「強調表示」についてのお話です。

食欲をそそるうたい文句や、おいしそうなパッケージ。近年では、「○○%増量」「今だけ」などのお得感・限定感だけでなく、「低・ゼロカロリー」「糖質・脂質オフ」といったヘルシーさを売りにする企業も増えていきます。

最近では、商品の裏側に小さい字で書いてある栄養表示を、じっくりとみる人もおおいのではないのでしょうか？

栄養表示は、熱量（カロリー）・たんぱく質・脂質・糖質（炭水化物）・ナトリウムを記載する決まりがあります。また、過剰になりがちなカロリー・糖質・脂質などは、要件を満たせば「ゼロ」などの強調表示を行うことができます。ただし、気を付けたいのは、「100gあたり5kcal未満」という基準があり、「ゼロ」と表示があっても完全に「ゼロ」ではないということ。節度を持って食べるようにしましょう。

職員旅行

2月14日、15日の2日間、職員旅行の第一弾として滝澤理事長、五藤先生をはじめ職員12名、子供3名で湯原温泉、蒜山へ行ってきました。14日の夕方にバスでビールの乾杯とともに岡山を出発し、湯原温泉の旅館「八景」にて宿泊しました。美味しい食事と、気持ち良い温泉、（露天風呂もありました）を満喫しました。翌朝起きてみると、一面銀世界が広がっていました。2日は蒜山ベアバレースキー場でのスキー＆スノーボード組と、勝山観光＆蒜山の食事組の二手にわかれました。初めて雪遊びやスキーを体験する子供もいて、良い経験をする事ができました。みんなリフレッシュが出来て、とても良い旅行となりました。



職員講習実施中！

2月より数回に分け、ボランティアの特定非営利活動法人NPO救命おやかやま 山元 一生様（認定救急救命士）による救命講習が東備クリニック、岡山クリニックにて実施されています。

DVDを見て、人形を使い実践しました。いろいろな状況を想定し、心臓マッサージをする人、AEDを用意、実施する人に分かれ、どんな状況でも周りの人に声をかけ、協力してもらい、人命救助に携わる大切さを改めて感じました。皆様も機会があれば、是非講習を受けてみてはいかがでしょうか。



薬局より

薬の服用について

「お薬を服用する時はお水や白湯で服用すること」といわれますがその理由は「存じですか？」

薬は通常中性の水で服用することを前提に製造されているためお茶、牛乳、コーヒー、コーラ、ジュース、スポーツ飲料、アルコールなどでの服薬は、薬の吸収に影響します。また薬の成分と飲み水の成分が反応して効果に影響を及ぼすこともあります。

例えば一部の抗菌剤を牛乳で服用するとカルシウムと薬が結合し、体内で吸収されにくいキレートという構造に変化し、薬の効き目が弱くなってしまうことがあります。

また血圧降下剤である「カルシウム拮抗剤」と言われている種類の薬をグレープフルーツジュースで服用するとグレープフルーツに含まれるフラノクマリンという苦味成分が、肝臓で薬を分解・無毒化するのに必要な酵素の働きを妨害してしまうため薬が分解・無毒化されるのに時間がかかり、薬の効果を強めてしまうということがあります。

ほかにもカプセルのお薬を糖分の入ったジュースなどで服用するとカプセルがべた付き食道の壁に付着してしまいそこに炎症を起こします。

『東日本大震災復興支援募金の報告と御礼』

当院岡山クリニックおよび東備クリニックの受付カウンターに設置致しております募金箱へ、多くの皆様から被災者の方々への義援金をお寄せ頂き誠にありがとうございます。

お預かりした義援金は、平成23年3月より定期的に特定非営利活動法人AMD Aの『東日本大震災復興支援事業』へ送金させて頂いておりますが、この度、7回目の送金を平成26年3月17日にさせて頂きましたので御報告致します。

被災地の一日も早い復興をお祈りいたしますとともに、ご協力いただきました皆様に心から厚く御礼申し上げます。